

**EALGA**

# SCM委員会の 今後の取り組みについて


S C M 委 員 会

**EC<sup>JEITA</sup>  
CENTER**

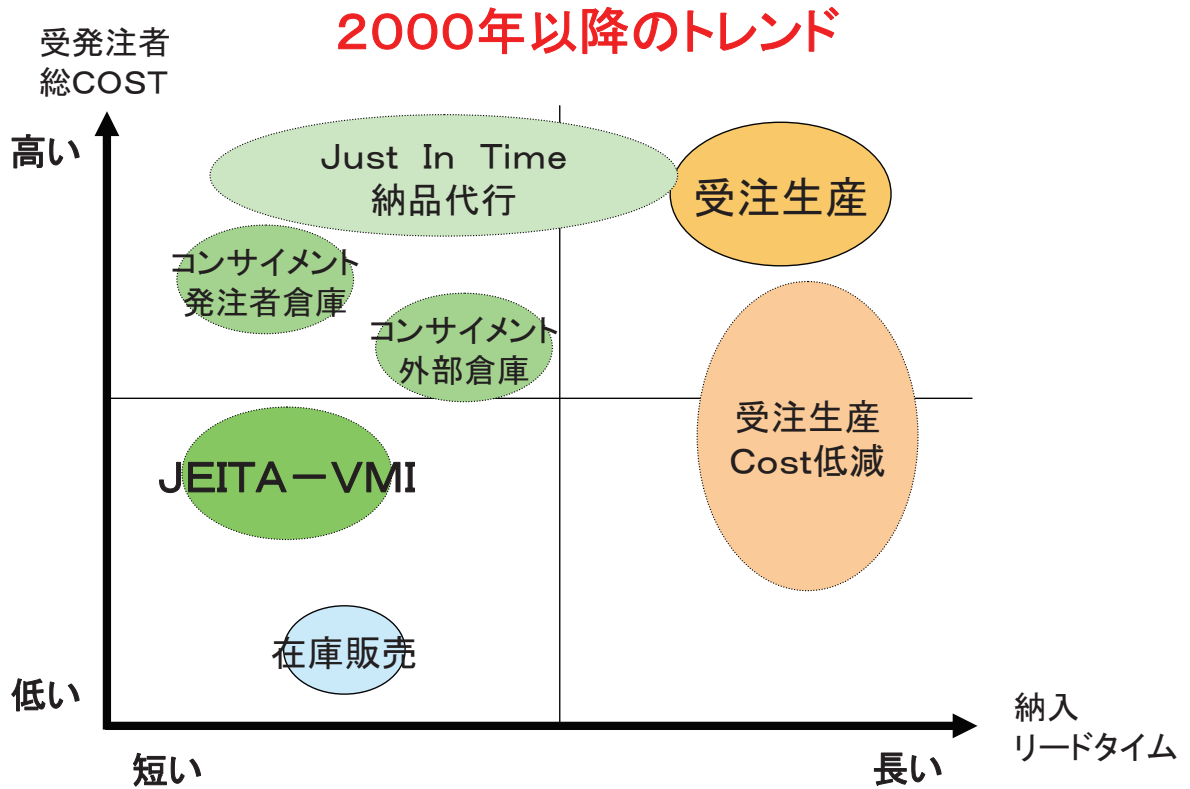
# 目次

1. SCM委員会標準化の歩み
2. SCMビジネスセグメント
3. SCM委員会の新たな取り組み
4. SCMビジネスレイヤー
5. SCM標準化ラインナップ
6. SCM委員会の今後の方向性
7. SCMビジネスガイドの検討
- 8~13. ビジネスガイド検討例
14. 今、ビジネスで必要とされるもの

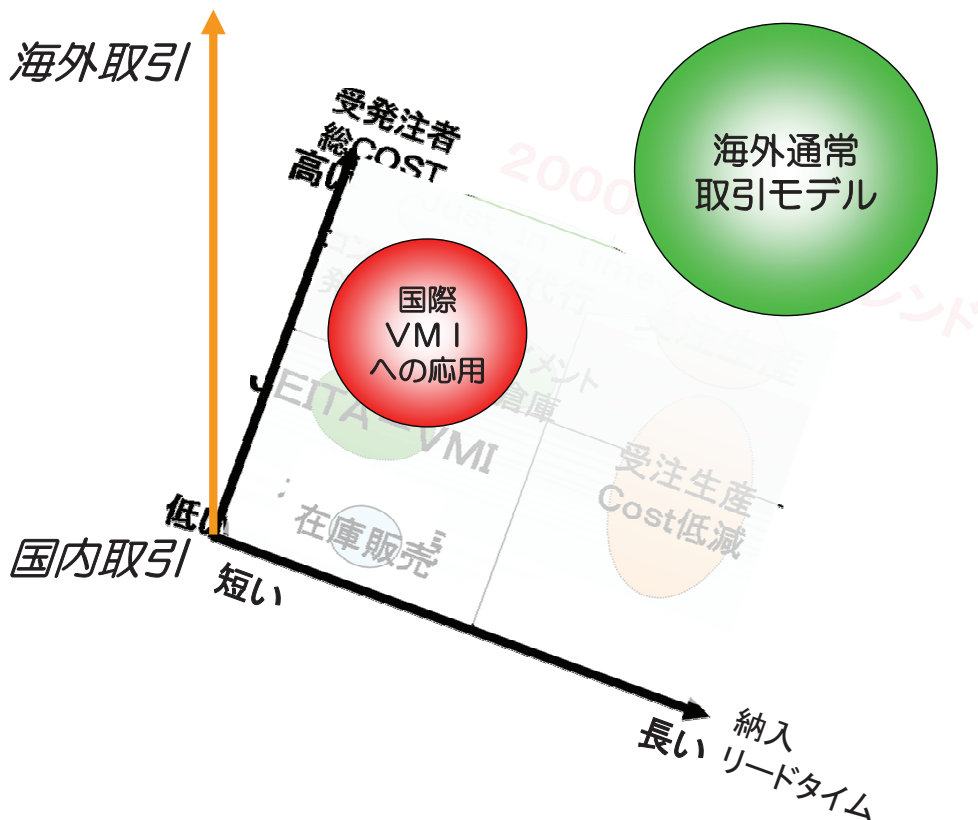
## 1. SCM委員会 標準化の歩み

	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
ビジネスの拡大	<b>JEITA-VMI</b> JITと生産性の両立 Cost低減		<b>EIAJ-EDI</b> 2001年度版 英訳/部分中訳 アジア地域における EDI実装支援	<b>コンサイメント</b> 預託取引の整備 国際VMIへの応用	<b>EIAJ-EDI</b> 2001年度版 完全中訳 アジア地域における EDI実装支援	<b>海外通常取引</b> 海外取引の正規標準化	
		<b>JEITA-VMI</b> 導入ガイド ビジネス実装 の参考書	 シンボル標準	<b>違算発生 防止ガイド</b> 結果の管理から リスクコントロールへ			<b>C-3 ラベル</b> 180mm リール対応 2次元コード
業務の効率化	<b>送品案内書</b> 倉庫事業者との連携		<b>標準多品 納品書</b> 納品受入形態の多様化 配送案内書(参考)		<b>標準多品 納品書</b> 受入業務の改善 単価・金額欄追加		

# 2. SCMビジネスセグメント



# 3. SCM委員会の新たな取り組み



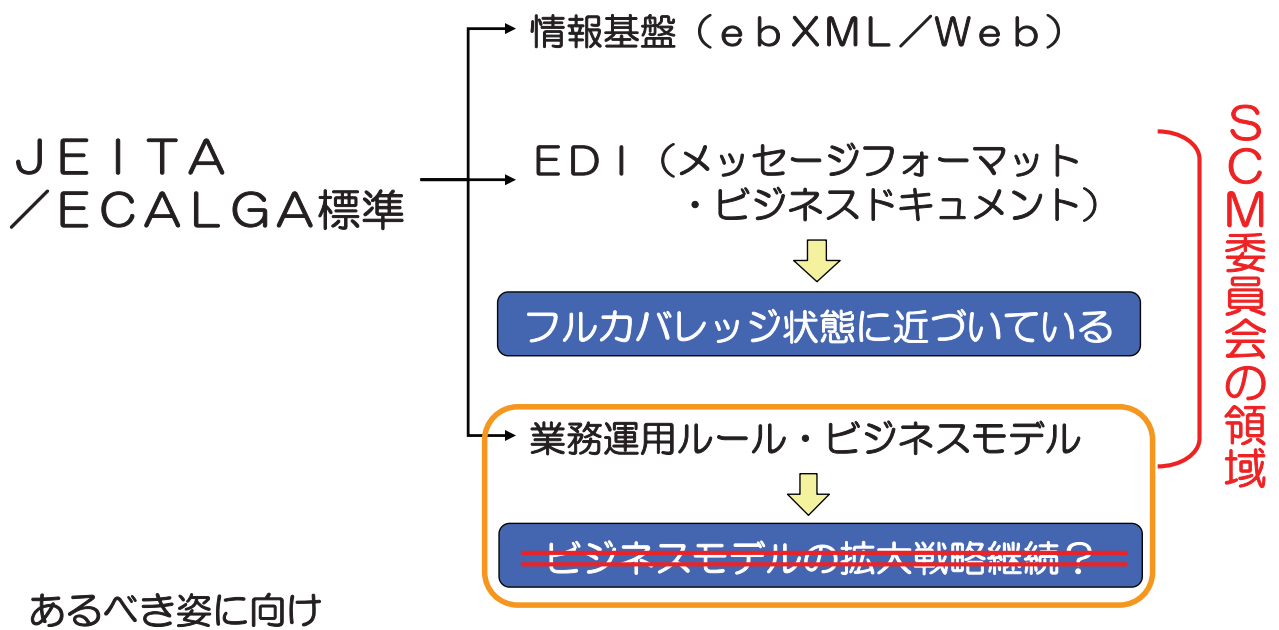
# 4. S C M ビジネスレイヤー

凡例 ○：原則使用する △：任意使用 ×：使用しない □：未検討		計画情報			個別契約			出荷業務			在庫管理		
		所要供給	予約注文	確定注文	出荷指示	出荷タイミング	受注者業務の委託先	受渡場所 (所有権移転)	受注者 在庫の 預託先	倉庫 事業者	倉庫 選定		
国内	通常取引	納品代行	○	△	○	×	確定注文の納期 (必要に応じて、受注者から倉庫への出荷依頼あり)	受注者 →倉庫事業者	発注者 指定場所	倉庫事業者 (外部倉庫)	○	受注者 判断	
		ジャスト・イン・タイム (JIT)	○	△	○	×	確定注文の納期	-	発注者 指定場所	-	×	-	
		所要計画・予約注文 を活用した協業モデル/ 所要計画を活用した協業モデル	○	○/×	○	×	確定注文の納期	-	発注者 指定場所	-	×	-	
	預託取引	コンサイメント	○	△	△	×	発注者判断	受注者 →発注者	倉庫内に設定	発注者	×	-	
		コンサイメント (外部倉庫)	○	△	△	○	倉庫事業者へ出荷指示	受注者 →発注者 →倉庫事業者	倉庫内に設定	発注者	○	発注者 判断	
		倉庫事業者預託 (JEITA-VMI)	○	△	△	○	倉庫事業者へ出荷指示	受注者 →倉庫事業者	倉庫内に設定 (又は倉庫 出し時点)	倉庫事業者 (受注者 共用倉庫)	○	発注者 指定	
海外	通常取引	海外通常取引	□	□	○	×	確定注文の納期	-	発注者 指定場所	-	×	-	

# 5. S C M 標準化ラインナップ

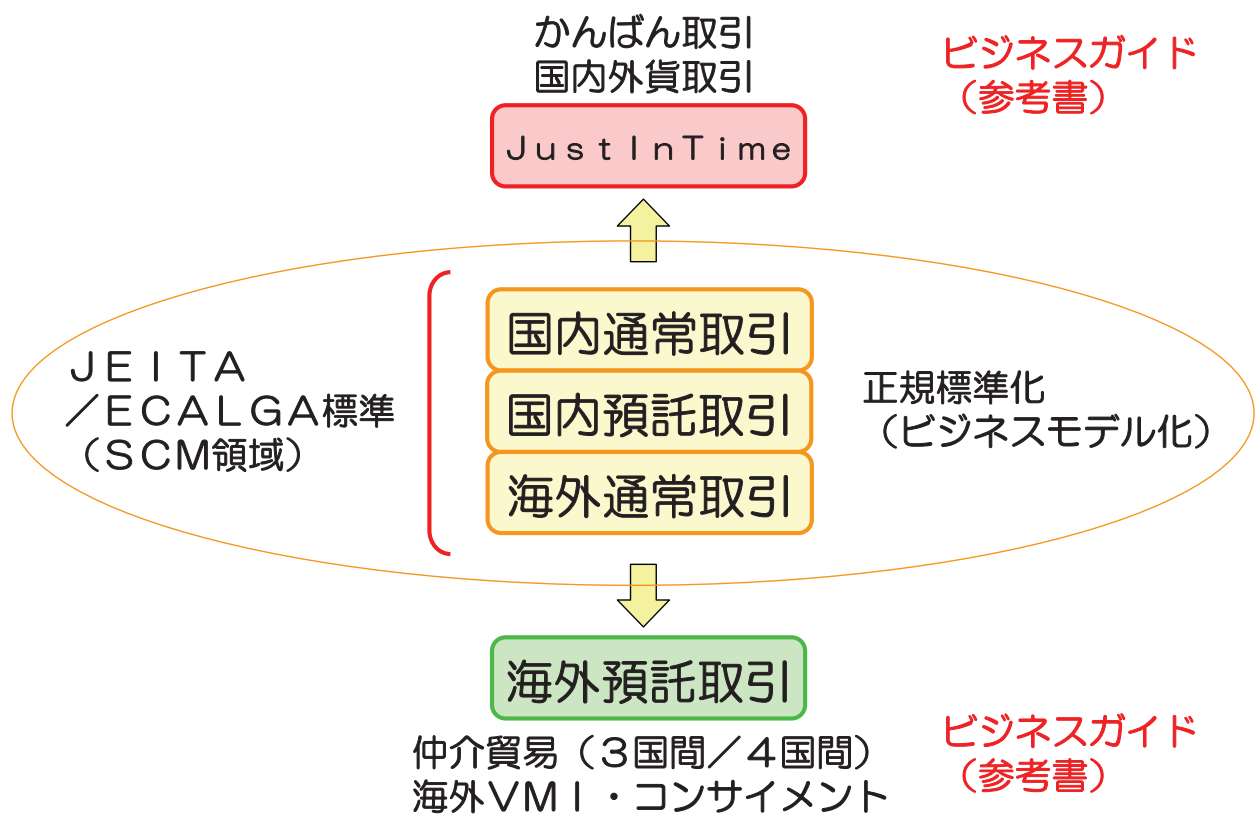
凡例 ○：原則使用する △：任意使用 ×：使用しない □：未検討		計画情報			個別契約			出荷業務			在庫管理		
		所要供給	予約注文	確定注文	出荷指示	出荷タイミング	受注者業務の委託先	受渡場所 (所有権移転)	受注者 在庫の 預託先	倉庫 事業者	倉庫 選定		
国内	通常取引	納品代行	従来の受発注情報種で対応可能 (運用方法次第) CBCS-×× メッセージフォーマット (2K)										
		ジャスト・イン・タイム (JIT)											
		所要計画・予約注文 を活用した協業モデル/ 所要計画を活用した協業モデル	CBC-0010 所要計画と予約注文を活用した協業モデル CBC-0020 所要計画を活用した協業モデル										
	預託取引	コンサイメント	CBC-0030 コンサイメント協業モデル CBC-0070 コンサイメント標準納品システム CBC-0080 コンサイメント在庫通知 / CBC-0090 輸出梱包										
		コンサイメント (外部倉庫)											
		倉庫事業者預託 (JEITA-VMI)	CBC-0040~60 JEITA-VMI										
海外	通常取引	海外通常取引	新たな企業ニーズ (今回のDraft)										

# 6. SCM 委員会の今後の方向性



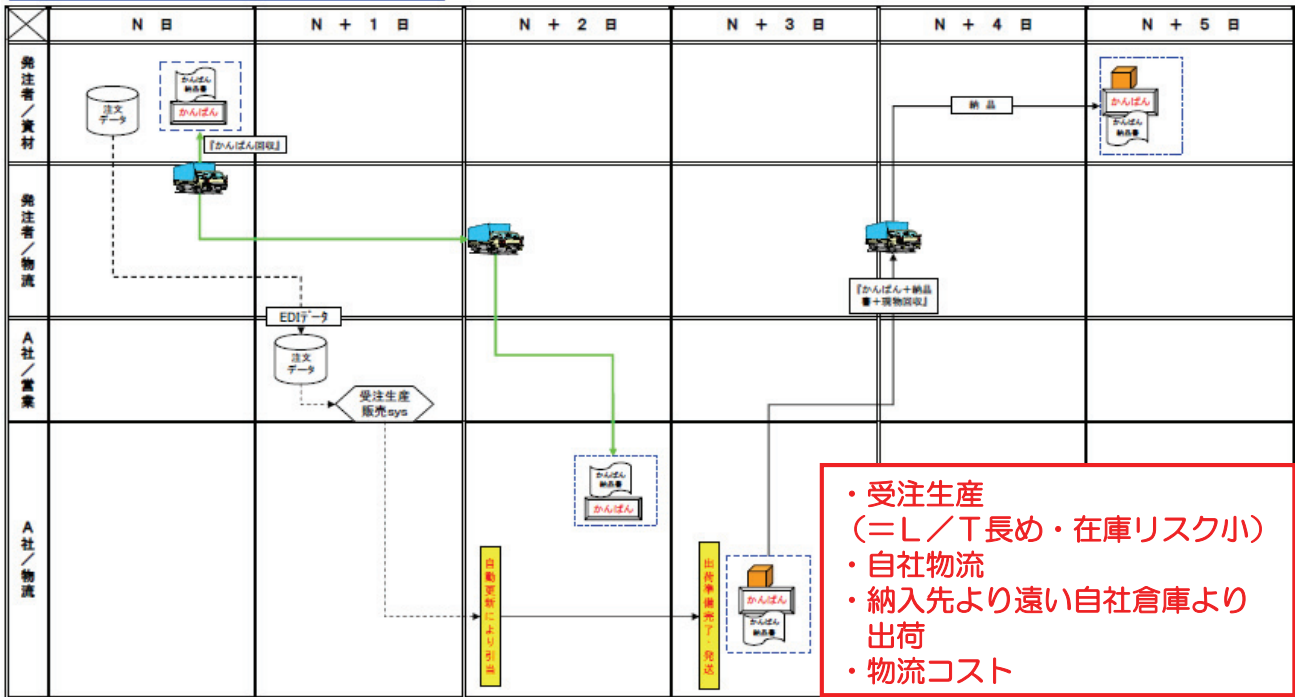
ビジネススキーム構築の参考書を作ることで、ユーザー自身がビジネスを組み立て、EDIの使い方を考える。

# 7. SCM ビジネスガイドの検討



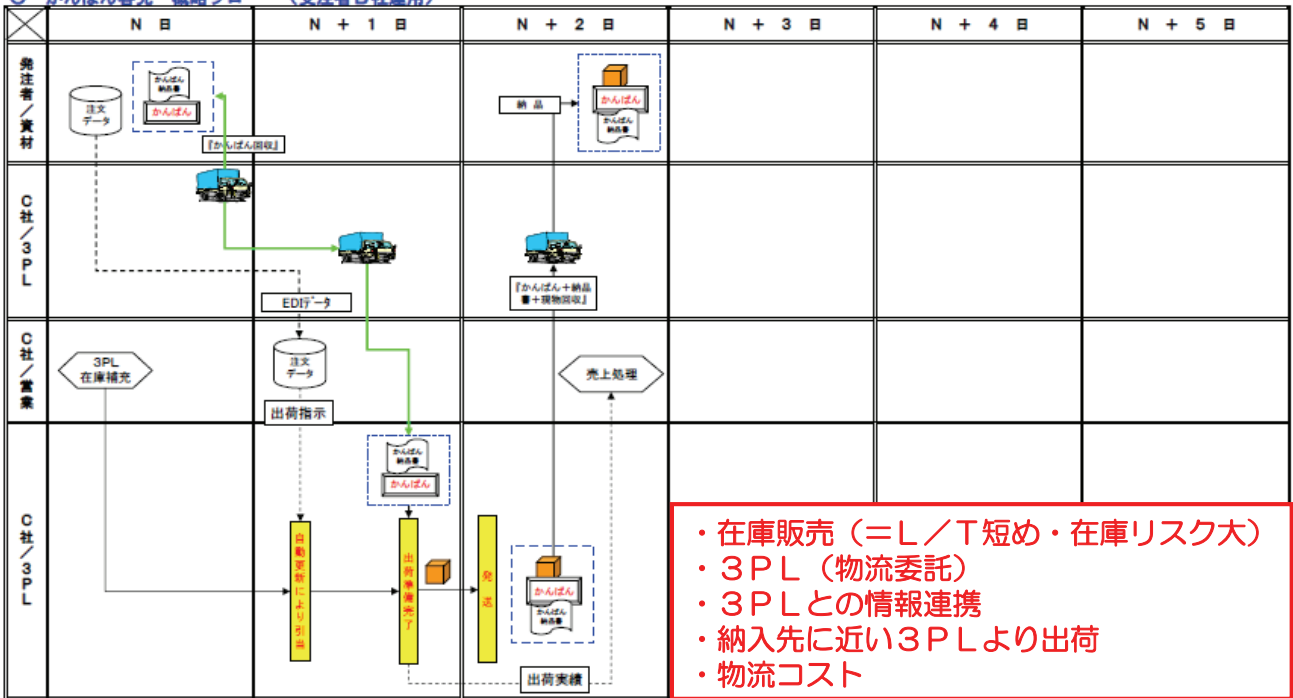
# 8. かんばん ビジネスガイド例 - 1

○ かんばん客先 概略フロー (受注者A社運用)



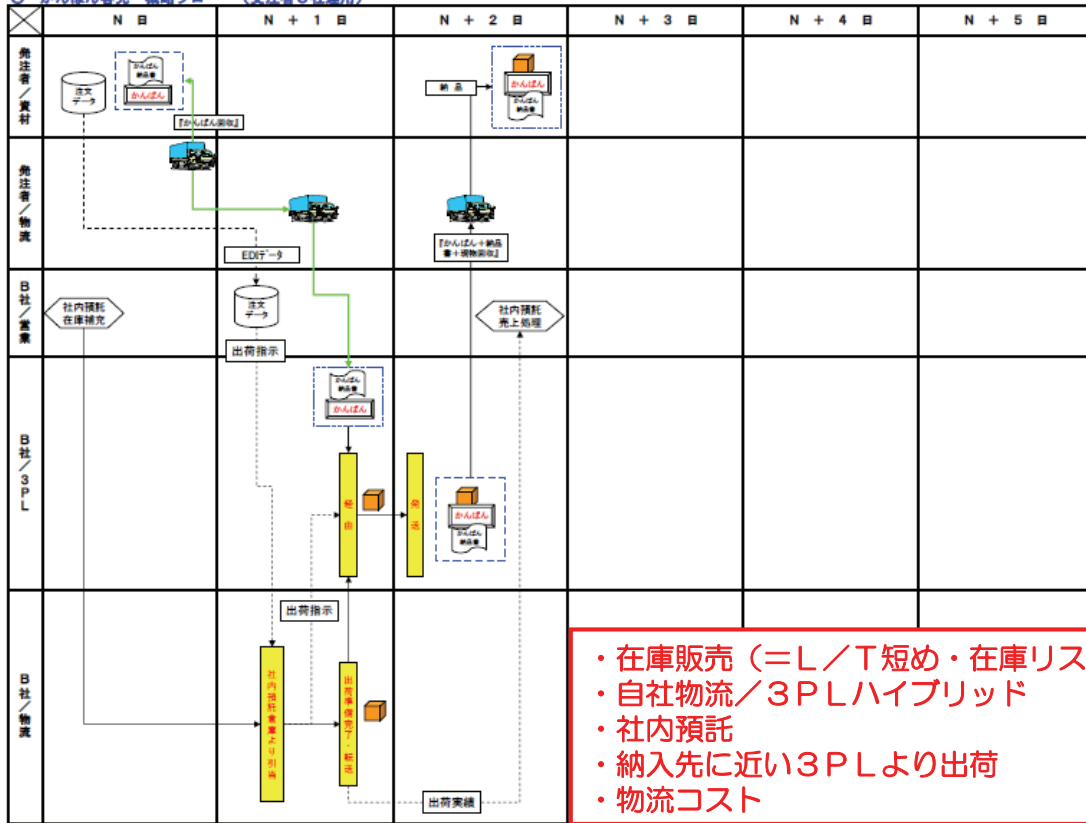
# 9. かんばん ビジネスガイド例 - 2

○ かんばん客先 概略フロー (受注者B社運用)



# 10. かんぱん ビジネスガイド例 - 3

○ かんぱん受発 振替フロー (受注者C社運用)

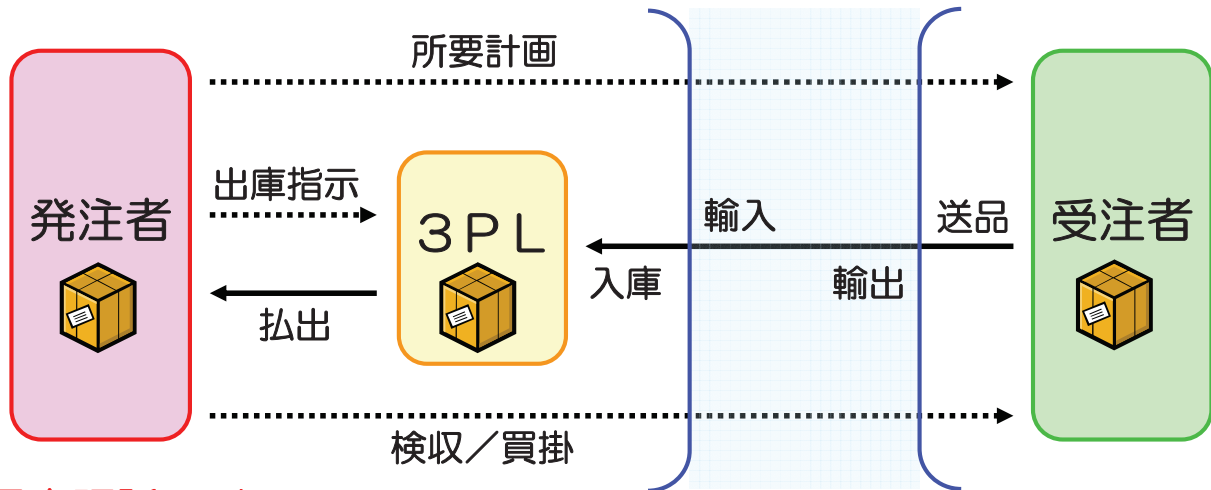


# 11. かんぱん ビジネス比較から気付く事

	ビジネスの特徴	要因分析
A社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受注生産 (=L/T長め・在庫リスク小)</li> <li>・自社物流</li> <li>・納入先より遠い自社倉庫より出荷</li> <li>・物流コスト</li> </ul>	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; font-size: 2em; margin-right: 10px;">創意工夫</div> <div style="font-size: 4em;">↓</div> </div>
B社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在庫販売 (=L/T短め・在庫リスク大)</li> <li>・3PL (物流委託)</li> <li>・3PLとの情報連携</li> <li>・納入先に近い3PLより出荷</li> <li>・物流コスト</li> </ul>	
C社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在庫販売 (=L/T短め・在庫リスク大)</li> <li>・自社物流/3PLハイブリット</li> <li>・社内預託</li> <li>・納入先に近い3PLより出荷</li> <li>・物流コスト</li> </ul>	
その他		

自社を取り巻く要因分析と最適な解決策に向けた創意工夫が必要

## 12. 海外預託取引 ビジネスガイド例



### 国内預託取引

(コンサイメント/VM I)

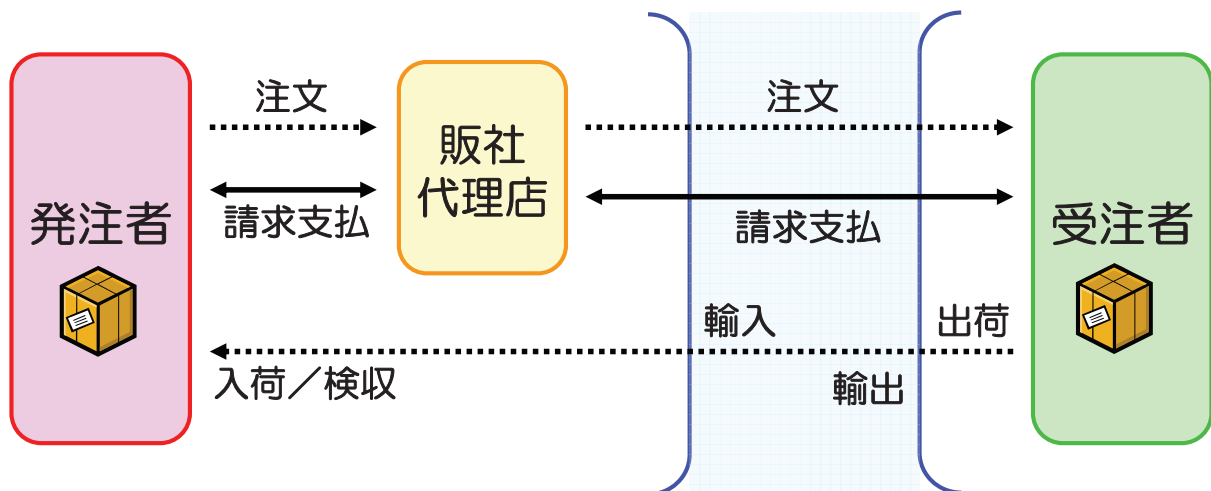
- ・ 所要計画にて手配
- ・ 送品案内にて国内配送
- ・ 出庫指示にて払出
- ・ 払出情報に基づき在庫補充
- ・ 検収/買掛情報に基づき売上計上

海外預託取引って

どうやって実装するの？

インボイス金額は？検収情報は？

## 13. 海外直送取引 ビジネスガイド例



### 国内直送取引 (例)

- ・ 販社/代理店の注文に基づき出荷
- ・ 送品案内にて国内配送
- ・ 出荷情報に基づき仕入/売上/請求

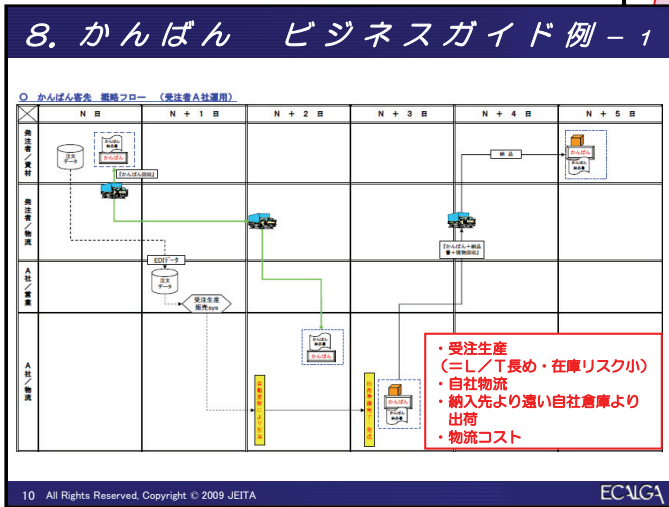
海外直送取引って

どうやって実装するの？

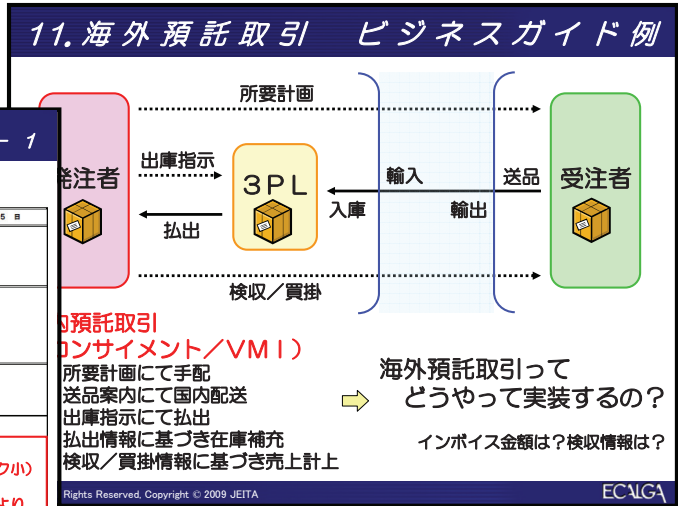
3国間取引？輸出申告者は？



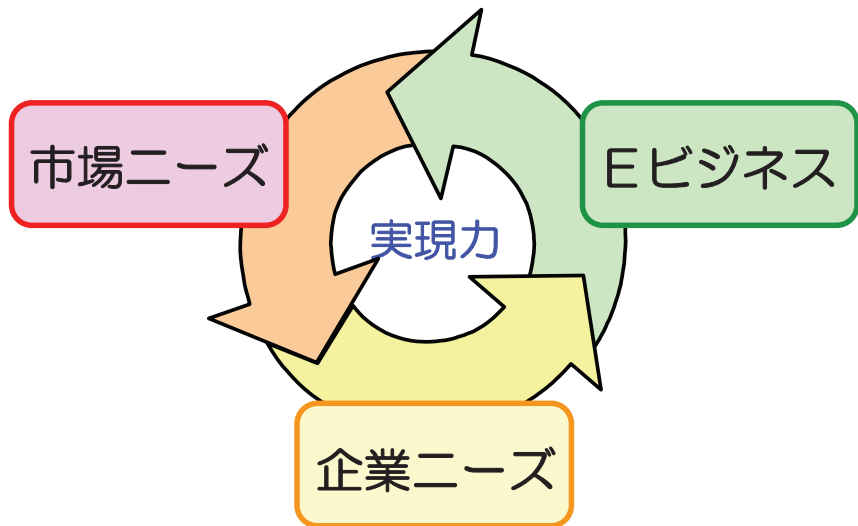
# 14. 今、ビジネスで必要とされるもの



- ・受注生産 (=L/T長め・在庫リスク小)
- ・自社物流
- ・納入先より速い自社倉庫より出荷
- ・物流コスト



ビジネスを組み立てるちから = 実現力



ビジネスを組み立てるちから = 実現力